

2016 国際学校図書館協会 (IASL) 東京大会実施要綱

最終改訂：2016年6月2日
2016 IASL 東京大会運営委員会

I. 大会の概要

1. 時期： 2016年8月22日(月)～26日(金)
2. 会場： 明治大学駿河台キャンパス リバティタワー
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
[http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html]
※ プレ会議： 8月21日(日)，國學院大學(予定)

3. 大会テーマ： デジタル化時代の学校図書館

4. 大会日程

<第1日目> (8月22日(月))		<第3日目> (8月24日(水))	
9:00～11:00	開会式	9:00～17:00	学校訪問
11:00～12:00	基調講演		(終日)
12:00～13:30	昼食		
13:30～15:00	分科会	<第4日目> (8月25日(木))	
15:00～15:30	休憩	9:00～10:00	基調講演
15:30～17:00	分科会	10:00～10:30	休憩
17:00～18:00	IASL委員会	10:30～12:00	分科会
19:00～21:00	歓迎会	12:00～13:30	昼食
		12:30～14:00	ポスター発表
<第2日目> (8月23日(火))		13:30～15:00	分科会
9:00～10:00	基調講演	15:00～15:30	休憩
10:00～10:30	休憩	15:30～17:00	分科会
10:30～12:00	分科会	17:00～18:00	IASL地域会議
12:00～13:30	昼食	19:00～21:00	公式晚餐会
12:30～14:00	ポスター発表		(ガラ・パーティ)
13:30～15:00	分科会		
15:00～15:30	休憩	<第5日目> (8月26日(金))	
15:30～17:00	分科会	9:00～10:00	基調講演
17:00～18:00	IASL総会	10:00～11:30	閉会式

※<プレ会議> (8月21日(日))

於 國學院大學 (予定)	13:30~16:30	プレ会議
9:00~12:00 プレ会議	16:30~17:30	IASL 理事会
12:00~13:30 昼食	17:30~18:30	IASL 常任理事会

5. 開催趣旨

国際学校図書館協会 (International Association of School Librarianship: IASL) は 1971 年に創設された、世界規模で学校図書館活動の促進を目指す国際機関です。米国ウェスタン・ミシガン大学 (WMU) のジーン・ローリー女史らを中心にジャマイカで結成され、翌年、第 1 回大会がロンドンで開催されました。その後も毎年、年次大会・フォーラムを開催し、各国の学校図書館員や教員、研究者ら教育関係者が参加し、学校図書館の効果的活用を議論しています。

2016 IASL 東京大会組織委員会 (組織委員長・大滝則忠国立国会図書館長) は、2016 年 8 月 22 日~26 日、東京・明治大学において第 45 回 IASL 世界大会・第 20 回学校図書館研究フォーラムを開催します。本大会の日本開催は初めてのこととなります。大会テーマは「デジタル化時代の学校図書館」です。ウェブを通じて膨大な情報アクセスが可能となったデジタル化時代において、学校図書館はどのように再定義され、どのようなサービスが可能となるのでしょうか。本大会は、世界でどのような実践が行われているかを知り、世界の学校図書館関係者と交流を深める好機です。現場の図書館教職員や学校関係者、研究者の方々、そして大学院生・大学生の皆様、本大会への積極的なご参加をお待ちしております。

6. 主催者等

主催：2016 国際学校図書館協会 (IASL) 東京大会組織委員会

後援 (予定を含む)：文部科学省、国立国会図書館、国立国会図書館子ども図書館、公益財団法人文字・活字文化推進機構、東京都教育委員会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、子どもの未来を考える議員連盟、活字議員連盟、独立行政法人国立青少年教育振興機構、全国都道府県教育委員会連合会、公益社団法人日本 PTA 全国協議会、公益社団法人日本図書館協会、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター、学校図書館整備推進会議、日本児童文学者協会、一般社団法人日本児童文芸家協会、公益社団法人日本読書推進運動協議会、一般社団法人日本書籍出版協会、一般社団法人日本出版取次協会、一般社団法人日本書店商業組合連合会、一般社団法人日本教育情報化振興会、一般社団法人日本国際児童図書評議会、一般社団法人日本新聞協会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日経新聞社、産経新聞社、日本教育新聞社、教育新聞社、教育家庭新聞社、明治大学、國學院大學、文化学園大学、ベストワールド社、カルチャージャパン、ISS 社ほか。

このほか、多数の企業・団体から協賛・協力をいただく予定です。

II. 参加申込について

大会参加申込については、大会ホームページ [<http://iasl2016.org/>] から、手続きください。どなたでも申し込むことができます。2016年1月から受け付けを開始します。5月31日までは早期申込割引期間（アーリーバード）となり、参加費が割安となりますので、どうぞご利用ください。

1. 参加費

全日参加：50,000 円（歓迎レセプション、全日の昼食代、特製バック、大会要綱を含む）

※5日間の参加費用です。ただし、5月31日までの早期申込割引期間（アーリーバード）は、全日参加費 40,000 円となります。お早めにお申し込みください

全日参加（大学院生・学生）：35,000 円（歓迎レセプション、全日の昼食代、特製バック、大会要綱を含む） ※ただし、5月31日までの早期申込割引期間（アーリーバード）は、大学院生・学生の全日参加費は 25,000 円となります。お早めにお申し込みください

一日参加：5,000 円（該当日の昼食代、大会要項を含む） ※複数日に参加される場合は、2日目以降、全日参加扱いとなります

※上記は、いずれも日本人参加者（日本在住者）の「会員価格」ですが、ここでいう「会員」には、全国 SLA 会員や IASL の機関会員に所属されている方以外にも、「学校関係者」、「研究者」、それに「学校図書館に関心のある者」が広く含まれます。どうぞ積極的にご参加ください。なお、海外参加者（在住者）には別掲（本実施要綱 6 ページ）のように、国籍別に A～C のゾーンごとの価格設定があります。

※公式晩餐会（ガラ・パーティ、8月25日）：10,000 円（参加費とは別に申し受けます）
会 場：東部ホテルレバント東京（錦糸町） [www.tobuhotel.co.jp/levant/]

※なお、第 40 回全国学校図書館研究大会（神戸大会、8月8～10日）の参加者は、2016 IASL 東京大会の全日参加費用が、申込の時期を問わず、25,000 円（歓迎レセプション、全日の昼食代、特製バック、大会要綱を含む）となります。詳細は、申込時にご確認ください。

2. 振込先

2016年1月までにご案内いたします。

3. 参加申込期限

2016年7月31日（ただし、早期申込割引期間は5月15日まで）

Ⅲ. 発表申込について

2015年9月～2016年1月15日、学校図書館に関する研究発表を募集します。大会ホームページ[<http://iasl2016.org/>]から申込用紙をダウンロードし、同ページからお申し込みください。

申込区分は、(1) 実践発表 (Professional Presentation: PP) , (2) 研究発表 (Research Presentation: RP) , (3) ワークショップ (Workshop: WS) , (4) ポスター発表 (Poster Presentation) の4つです。発表はいずれも、英語で行うものとします。申込書は英語での作成をお願いします。

審査後、2016年3月15日までに選考結果を通知します。採択された方は、6月4日までに発表要綱向け原稿(書式は別記参照)を送付ください。発表日時は事後、通知します。

(採択された方は、早期申込割引期間の5月15日までに、必ず、上記Ⅱ.の全日参加申込を行ってください。共同発表の場合、参加者は全日参加申込を行う必要があります)

1. 発表形式

(1) 実践発表 (PP) 1件30分(発表20分, 質疑10分)

学校図書館に関する未発表の研究で、実践事例をまとめたもの

(2) 研究発表 (RP) 1件30分(発表20分, 質疑10分)

学校図書館に関する未発表の研究で、調査・考察等に基づき、一定の結論が導かれるもの

(3) ワークショップ (WS) 1件90分

学校図書館に関する具体的テーマを設定し、参加者との討論を通じて理解を深めるもの
複数名の企画者・報告者(話題提供者)から構成されること

(4) ポスター発表 第2日目と第4日目のそれぞれ12:30～14:00の時間帯

ポスター1枚に内容をまとめ、個別の参加者に直接、説明するもの

(第2日目と第4日目は発表時間帯以外でも、適宜、参加者に説明可能です)

利用できる装置：プロジェクタ・スクリーン・PC(常設)

常設PCの仕様：OS Windows7 or 8.1, ソフトウェア Office2010Pro or 2013Pro

2. 発表の申込先

submissions-iasl2016@j-sla.or.jp です。

大会ホームページ [<http://iasl2016.org/>]でご案内しております。

3. 発表申込期限：2016年1月15日(発表要綱向け原稿提出期限：6月4日)

IV. 学校訪問について

2016年8月24日(水)に下記6コースで実施予定です。それぞれ定員枠を設けますので、お早めのお申し込みをお願いします。参加申込時に、第1希望から第3希望まで伺います。

No.	定員	訪問先
1	50	横浜市立盲特別支援学校, 関東学院小学校
2	50	大和市立文ヶ岡小学校, 大和市立光丘中学校
3	50	国際子ども図書館, 荒川区立第三中学校, 荒川区立汐入東小学校
4	40	江戸川区立小松川小学校, 毎日新聞社
5	40	市川市立第七中学校, 市川市教育センター, 市川市立中央図書館
6	40	中央大学附属中学校・高等学校, 東京学芸大学図書館
計	250	

V. プレ会議について

8月21日(日)に國學院大學(予定)において、プレ会議として各種のワークショップなどを開きます。詳細は、後日お知らせいたします。(ワークショップは、無料と有料の場合があります。有料の場合は、大会参加費と別に参加料を申し受けます)

VI. 大会後の国内ツアーについて

大会後、関東近郊や京都方面への観光旅行を実施予定です。海外からの参加者とさらに交流を深める機会となります。詳しくは、2016年1月以降、大会ホームページ[<http://iasl2016.org/>]でご案内します。

VII. 宿泊について

2016年1月から、大会ホームページ[<http://iasl2016.org/>]で宿泊情報を周知します。事前に個人で手配されても結構です。

問合先

IASL 2016 東京大会事務局 [<http://iasl2016.org/>]

〒112-0003 東京都文京区春日 2-2-7 公益社団法人全国学校図書館協議会内

別掲 大会参加費

大会参加費		
	会員	非会員
地域と参加形態	単価 (円)	単価 (円)
日本人 (フル)	50,000	60,000
日本人 (割引)	40,000	48,000
日本人 (院生・学生)	35,000	42,000
日本人 (院生・学生) (早期割引)	25,000	30,000
日本人 (全国 SLA 神戸大会参加者)	25,000	30,000
*日本人 (一日参加)	5,000	7,000
Aゾーン	50,000	60,000
Aゾーン (早期割引)	40,000	48,000
Aゾーン 同伴	30,000	36,000
Bゾーン	35,000	42,000
Bゾーン (早期割引)	25,000	30,000
Bゾーン 同伴	15,000	18,000
Cゾーン	20,000	24,000
Cゾーン (早期割引)	15,000	18,000
Cゾーン 同伴	10,000	12,000

※「日本人」には、日本国籍をもつ者、日本在住者が含まれる。また、日本人の「会員」には、「学校関係者」、「研究者」、および「学校図書館に関心のある者」が広く含まれる。

※「ゾーン」に含まれる国・地域について

Zone A countries: International Schools (except local employees) are included in Zone A.

Australia, Austria, Bahamas, Bahrain, Belgium, Brunei, Canada, China/Hong Kong, China/Macao, Cyprus, Denmark, Finland, France, Germany, Greece, Iceland, Ireland, Israel, Italy, Japan, Kuwait, Liechtenstein, Luxembourg, Monaco, Netherlands, New Zealand, Norway, Portugal, Qatar, San Marino, Saudi Arabia, Singapore, Slovenia, South Korea, Spain, Sweden, Switzerland, Taiwan, United Kingdom, UK/Bermuda, UK/British Virgin Islands, UK/Cayman, UK/England, UK/Gibraltar, UK/Falkland, UK/North Ireland, UK/Scotland, UK/Wales, United Arab Emirates, USA, USA/Virgin Islands.

Zone B countries: Algeria, Angola, Antigua & Barbuda, Argentina, Azerbaijan, Barbados, Belize, Botswana, Brazil, Bulgaria, Chile, Cook Islands (New Zealand), Costa Rica, Croatia, Czech Republic, Dominica, Dominican Republic, Equatorial Guinea, Estonia, France/French Guinea, France/French Polynesia, France/Guadeloupe, France/Martinique, France/New Caledonia, France/Reunion, France/St. Pierre & Miquelon, Gabon, Grenada, Hungary, Jamaica, Kazakhstan, Latvia, Lebanon, Libya, Lithuania, Malaysia, Malta, Mauritius, Mexico, Micronesia

(USA), Nauru, Neth. Antilles, Oman, Panama, Peru, Poland, Romania, Russia, Seychelles, Slovakia, South Africa, St. Kitts & Nevis, St. Lucia, St. Vincent & the Grenadines, Thailand, Trinidad & Tobago, Turkey, Turkmenistan, UK/Anguilla, UK/Montserrat, UK/Saint Helena, UK/Turks and Caicos, Uruguay, USA/American Samoa, USA/Guam, USA/Northern Marianas, USA/Palau, USA/Puerto Rico, Venezuela.

Zone C countries: Afghanistan, Albania, Andorra, Armenia, Bangladesh, Belarus, Benin, Bhutan, Bolivia, Bosnia and Herzegovina., Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Cape Verde, Central African Rep, Chad, China, Cocos (Keeling) Islands (Australia), Colombia, Comoros Islands, Congo, Cote d'Ivoire, Cuba, Dem Rep of Congo, Djibouti, East Timor, Ecuador, Egypt, El Salvador, Eritrea, Ethiopia, Fiji, France/Wallis et Futuna, Gambia, Georgia, Ghana, Guatemala, Guinea, Guinea-Bissau, Guyana, Haiti, Honduras, India, Indonesia, Iran, Iraq, Jordan, Kenya, Kiribati, Kyrgyzstan, Laos, Lesotho, Liberia, Macedonia, Madagascar, Malawi, Maldives, Mali, Myanmar, Marshall Islands (USA), Mauritania, Moldova, Mongolia, Morocco, Mozambique, Namibia, Nepal, Niue, Nicaragua, Niger, Nigeria, North Korea, Pakistan, Papua New Guinea, Paraguay, Philippines, Rwanda, Samoa, Sao Tome/Principe, Senegal, Serbia/Montenegro, Sierra Leone, Solomon Islands, Somalia, Sri Lanka, Sudan, Surinam, Swaziland, Syria, Tajikistan, Tanzania, Togo, Tonga, Tunisia, Tuvalu, Uganda, Ukraine, Uzbekistan, Vanuatu, Vietnam, West Bank/Gaza Strip, Yemen, Zambia, Zimbabwe.

以 上